

事務事業名		省エネ機器普及促進事業			会計	一般会計					
					事業種別	政策	開始	23	終了		
課等名		地球温暖化対策課		係等名	地球温暖化対策係						
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり							
		施策	57	社会の低炭素化の推進							
目的	対象(誰・何を)	市民			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	日常生活の省エネルギー行動による低炭素ライフスタイルへの変換				飯田市の人口(人) (H24.10.1推計人口)			103947		
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市全体が排出する温室効果ガス排出量(トﾝ・21年度算出実績は19年度のもの)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	温室効果ガス削減量(トﾝ)			-6	2113.8	1950.1	2576.1			
	成果指標	温室効果ガス削減容量増加(トﾝ/年)				1556.6	1467.1	1824.1			
	定性目標										
事業概要	<p>低炭素社会への移行には、事業活動の省エネ化、建築物(既築を含む)の省エネ化及び省エネ機器の普及促進が必要である。これらの移行過程では、地場の企業が、技術開発に投資できる大企業に対して競争力を持てるように配慮することが重要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 省エネ制度(改正省エネ法、CASBEE、エネルギーパス等)、技術、機器の情報収集及び周知 地場の中小企業の低炭素対応社会への対応力を向上するための講習会等開催 										
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	公共施設に雨水タンクを設置し、雨水の有効利用の促進と市民の意識啓発を行う。				件数(件)			2件			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		1,651	405	404	303						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		1,651	405	404	303						
人件費計(千円)②		0		536							
正規職員所要時間				150							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		1,651	405	940	303						
事業内容・目標達成状況の振り返り	雨水利用のモデル展示を行うことにより、雨水利用の普及啓発をするとともに、環境教育の一助を担った。										
改革改善の考え方	①問題点	市民からの具体的な省エネ手法の要請に実効的な手段を明示して対応していかなければならない									
	②改革提案	モデル的な省エネ機器の導入だけでなく、家庭向けの省エネの取り組みを推進する。									